

広報 しんじょう

7
2005

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.571

ISO14001

14年7月認証取得



歯の衛生週間「お祭り歯っぴい」(6月4日/ゆめりあ)

環境ISOは自己宣言方式へ2

もうすぐ新庄まつり250年祭4

協働指針策定委員の声6

花と緑のまちづくり8

江戸だより/いきいき新庄人9

しんじょう見聞録10

7月のお知らせ12

将来を見すえた人づくり14



新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp

国際標準規格ISO14001の取り組み 市環境マネジメントシステムは 「自己宣言方式」になります

環境マネジメントシステムISO14001は、企業や自治体などが環境保全活動に自主的に取り組むための経営管理システムです。市は、この国際標準規格の認証を取得し、職員の意識改革と省エネ・省資源による経費の削減に取り組んできました。7月で認証の期間は終了しますが、新たに「自己宣言方式」により、この取り組みを推進していきます。

認証取得から三年

市は、平成十四年三月にISO14001に基づいた「新庄市環境マネジメントシステム」を構築し、運用を開始しました。

同年七月には、ISO14001規格に基づく構築・運用として審査登録機関による認証を取得。行政活動全般にわたり環境への負担を軽減するため、効率的な業務の運営に取り組んできました。

今回の認証の期間は七月二十三日までの三年間です。この間、二回の定期審査を受け、「向上」という総合評価を受けています。

七月からは「自己宣言方式」へ

市は、この三年間の取り組みの成果を踏まえ、認証を更新せず、七月二十四日から「自己宣言方式」により取り組んでいきます。市が責任を持ってISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムを構築・運用し、それを内外に「自己宣言」するものです。

「自己宣言方式」を選択している自治体は全国にいくつもあります。が、「自己宣言」により市の社会的

責務はさらに大きくなります。

なぜ「自己宣言方式」を選んだの？

ISO14001の特徴は、計画を策定(Plan)、実施・運用(Do)、結果を点検・是正(Check)、不具合があれば見直す(Action)という「PDCAサイクル」により、継続的な改善を図っていくところにあります。

これまでの三年間の取り組みで職員のシステムに対する理解が深まり、環境に対する意識も高まっています。改善を図りながらシステムを運用することで、環境施策も充実し、大幅な経費削減が達成できました。(左表参照)

これまでの運用状況から「自己宣言方式」でもISO活動を継続できると判断し、「自己宣言方式」を選択しました。

成果は意識向上と経費の大幅削減

市が取り組んできたシステムの最大の特徴は、システム適用範囲の全職員が「環境にやさしい行動のチェックシート」を使って毎月自分自身の行動をチェックしながら

あじさいエコファミリー

地球温暖化防止に向け、6月から、市長をはじめとして職員約90人が「あじさいエコファミリー」として、家庭での電気使用量の削減活動を開始しました。毎月、電気の請求書をもとに参加者1人あたりの二酸化炭素排出量を計算するものです。前年より6%減らすことを目標に取り組んでいます。

ら環境改善行動に継続的に取り組んでいることです。「省エネ・省資源、リサイクル、廃棄物減量の推進」を環境方針に掲げ、電気使用量の削減などを共通目的・目標としています。

また、適用範囲も、当初は、本庁舎・上下水道庁舎・市民プラザだけでしたが、十五年度には文化会館などの生涯学習施設、十六年度には保育所・児童館・児童センター・生涯スポーツ課(市体育館)に拡大してきました。十月には、神室荘、わくわく新庄も適用範囲に加わる予定です。

さらに取り組みを地域に拡大していく第一歩として、十六年度か

環境ISO取り組みの成果

■省エネ・省資源関連

※数値は16年度(対前年度比)

項目	目標値	達成率	経費削減額
電気使用量	前年値維持 (※2)	106.3%	269万1,533円
ガス使用量		100.1%	6,585円
水道使用量		101.4%	12万2,850円
下水道使用量		101.4%	6万3,180円
灯油・重油使用量		105.4%	81万8,160円
用紙使用量	△1%	162.2%	56万4,868円
公用車燃料使用量		90.0%	△72万5,163円
廃棄物排出量		107.5%	7万5,647円
合計	—	—	361万7,660円

※1=本庁舎・市民プラザなど ※2=保育所・児童館・児童センター
※経費削減額=市の支出単価により算出

■事業活動関連

(環境にやさしいまちづくりの推進)

項目	目標値	実績	達成率
公共下水道整備	675m	1,414.73m	209.6%
公共下水道水洗化率	85.0%	86.4%	101.7%
農業集落排水普及率	80.0%	80.0%	100.0%
リサイクルにこにこ運動 (資源回収)推進	1,500t	1,664t	111.0%
ボランティア活動推進	17,000人	14,219人	83.6%
バイオマスたい肥製造事業	製造・回収 方法確立	実証作業 実施	—
花と緑のまちづくり推進	8,000株	11,709株	146.4%
バイオマスエネルギーの 研究・活用	研究の推進	※1	—
廃油再利用	※2	1,220L購入	—
環境教育推進	モデル校 事業等実施	モデル校 事業等実施	—
保育所等児童の省エネ 省資源活動	節水活動	※3	—

※1=エタノール混合燃料使用
○公用車10台/市8台、県2台 ○使用量4,355L/市2,294L、県2,061L
※2=スクールバスでの食用廃油(BDF)再利用
※3=各施設で多様な活動を展開し児童の理解を深めた

らは、「家庭でできる環境にやさしい行動」運動に取り組んでいます。こうした取り組みの結果、十四年度から十五年度までの二カ年で約千二百八十万円(対十二年度比較)、十六年度は、約三六一万円(対十五年度比較)の経費削減を実現しました。さらに、事業活動では、バイオマスたい肥製造事業、保育所での節水活動など、環境にやさしい多様な施策を展開してきました。

今後の取り組み

「自己宣言方式」の課題は、内から信頼されるシステムをどう維持していくかです。市では、システムが適正に管理運用されているか職員が互いにチェックする「内部監査」を毎年行っていますが、十六年度には「内部環境監査アドバイザー制度」を創設しました。外部の有識

者から監査アドバイザーとして指導・助言を受けながら、監査体制の強化を図っています。また、事業活動における「省エネ・省資源、リサイクル、廃棄物減量の推進」もさらに厳しい削減目標を設定し取り組んでいます。今後も、職員の監査技能の向上を図り、アドバイザーの協力を得ながら内部監査を充実させ、環境保全の取り組みを推進していきます。

学校版環境ISO “あじさい環境ISO” スタート!!

五月、市内全小中学校で学校版環境ISO「あじさい環境ISO」がスタートしました。六月には、各校の代表が集まり、ゆめりあで開始宣言式を行い環境にやさしい取り組みをアピールしました。

最初に、市の環境教育モデル校である北辰小学校の児童から落ち葉を使ったたい肥作りや、きれいな川に生息する魚「イバラトミヨ」を守る活動が紹介されました。

式典では、各校から「紙・牛乳パック・アルミ缶などをリサイクル」「鉛筆などを大切に」「落し物を減らす」など実行プログラムが発表されました。



▲「あじさい環境ISO」開始宣言式で各校の実行プログラムを発表(6月6日/ゆめりあ)

250年祭!

まつりガイドブック

7月20日発行(頒布価格300円)

山車人形図録

7月23日発行(頒布価格3,000円)

※市内各書店で取り扱います



山車づくり順調です

上金沢町若連代表・鳥村成実さん

今年の上金沢町の山車は「七福神(宝船)」。七福神と高砂のめでたい山車です。“250年祭にふさわしい山車を”と昨年から決めていました。10月には大阪御堂筋パレードにも参加するので、今年はその方向からも観賞できる山車を製作しています。

若連のメンバーは、みんなに見て喜んでほしいという気持ちで作っています。完璧な山車を目指し、あきらめず作ることで完成するのはいつも当日の朝です。

わたしたちの町内は動物ものを得意としていますが、今年も、山車をひく子どもたちがすごいと喜ぶものを作りたいと思います。そして、国際的なイベントである大阪御堂筋パレードに新庄市・山形県の代表として参加して、たくさん誘客できるよう頑張りたいと思います。



平成17年

新庄まつり250年祭

8月24・25・26日プラス27日

新庄まつりをアピール!



2005村山パラまつり

(6月5日/東沢公園)

福宮囃子若連

※6月号の「鳥越囃子若連」は「福宮囃子若連」の誤りでした。



花咲かフェアINさがえ

(6月19日/最上川ふるさと総合公園)

升形囃子若連

山車人形展

「野川陽山・新庄まつり山車人形のすべて」

新庄まつりの表情豊かな人形の「かしら」は芸術品として高く評価されています。代表的な山車人形やその技法、制作過程、歌舞伎の名場面を展示します。

●とき

7月23日(土)～9月26日(月)

●ところ

ふるさと歴史センター



募集

親子体験山車ひき

「まつりの感動を思い出に」

「新庄まつり二五〇年祭」の記念パレードに参加して、新庄まつりの素晴らしさを体感しながら、親子でふれあう思い出づくりにかかっていますか。

▼対象 親子50組(子どもは小学生対象)

▼とき 8月27日(土)午後2時30分～7時30分(観覧・休憩時間を含む)

▼内容 ふるさと歴史センター観覧、展示山車前で記念撮影・囃子体験、郷土料理(代金別途)、山車ひき(駅前通り→アビエス)、山車パレード観覧

▼参加費 親1人1,500円、子ども1人1,000円

(入館料、観覧席料、保険料、法被貸与代、記念写真代、ガイドブック代を含む)

▼申し込み 定員になり次第終了
◎詳しくは、商工観光課まつり物産交流室へ。
☎内線252

「協働推進のための指針」策定委員からの声

新庄ならだけではの協働を

今年二月策定した「協働推進のための指針」をもとに協働のまちづくりを推進していくにあたり、指針策定委員の皆さんからいただいたメッセージを紹介します。

独創的な協働づくり

NPO法人NPOもがみ理事長
沼野 慈さん(千門町)

協働をどう捉えるのか、実現した場合、どのような効果が期待できるのかなどに議論が集中し、市民参画と市民の責任についても論議を深めてきました。市民参画の抛り所として、新庄まつりや町内会の存在が浮き彫りにされ、独創的なものになりました。

指針の推進には、市民提案の受け入れや全事業の評価システムの構築が課題です。

わたしが考える協働

最上川フォーラム会員

佐藤眞一さん(沼田町)

新庄こそが世界の先進例をモデルにし、新体制づくりに努力すべきま

ちだと、わたしは思います。自然の豊かさの中で、人生の喜びを味わい過ごせる地域であることが協働の最終目標です。どのようなことでも行政、

市民、企業、学識者と話し合える場のあるまち、市民が心豊かに地域の自然の中で生活できるまち、そして心から「ありがとう」と感謝できるまち、そういったまちづくりを期待します。

楽しく参加できるまちづくり

バイカモの会代表

片見信廣さん(松本)

これからのまちづくりは、市民と行政とが一体となり進めていくようにしているわけですが、そのためには行政職員とともに市民も意識改革が不可欠だと思います。それには、長い年月が必要であり、また、幼少からの教育が最も大切ではないかと感じ

ています。楽しく参加できるまちづくりを、まず考える必要があるのではないのでしょうか。早期実現を期待しています。

できることから実践してみよう

新庄市区長協議会副会長

加藤 太さん(下金沢町)

指針策定にあたり、今までは行政に頼りきっていた体質があり、改善すべき点や市民から協力を得るべき点がたくさんあることを強く感じました。

市の財政がひっ迫している時期です。だからこそ、同じ目標を持つ同志が一体となり、知恵を出し合い「協働」で効果をあげることが大切です。「案ずるより産むがやすし」のことわざどおり、できることから実践してはどうでしょうか。

職場紹介

市役所の仕事

政策経営課編

政策経営課は、企画調整課と財政課が統合して四月に誕生したばかりの課です。施策の企画立案と財政運営を密接に連携させ、効率・効果的な業務の遂行を図ることを目的にしています。企画政策室・財政運営室・契約管財室・情報統計室の四室があり、二十五人(うち派遣二人、併任一人)の職員体制です。

企画政策室では、将来に向けた市政運営の基本計画である「第三次新庄市振興計画」の「後期五カ年基本計画」の策定を進めています。市の将来像である「田園都市(文化的な生活と自然の豊かさなどを味わい楽しむことができる都市)」を実現するため、公募などの委員二十人が審議しており、十月に答申を受け年内に策定する予定です。また、効率的で効果的な行財政運営を行うため、平成十五年度から事務事業評価を実施しましたが、今年度も実施し、結果を公表します。

財政運営室では、予算編成や執行管理、決算の分析、地方交付税事務、市債の借入・償還、中期の財政運営の計画づくりなど、財政運営全般を管理しています。また、

※協働推進のための指針は、市のホームページでも見ることができます。詳しくは、総務課行政協働室へ。☎内線215・218

公益活動

楽しく暮らすこと

(ママ・ナビ編集長 井上圭子さん)

「ママ・ナビ」2005年度版(子育て情報誌)が完成しました!この本の特徴は何といっても「クチコミ情報」で、季節ごとのオススメの遊び場からお医者さん・レストランなど、地元ママから集めたナマの情報を紹介、そのほか託児・保育所・幼稚園や習い事・サークルなど、これまで個々に集めるしかなかった情報がそろっています。取材から編集まですべて現役ママがボランティアで担当。全員、素人ですが情熱は高く「本当に必要な情報がぎゅっと入っている一冊」を目指して作りました。「こんな情報誌を待ってました!」と多くの子育て中のママから喜ばれています。

発行はまちづくり会社である新庄TCM(株)。県からの補助金(平成16年度山形県中心市街地・中小商業等活性化事業)を得て印刷製本しました。また今回は、編集会議の段階から保健所や子育て支援センターなどの行政機関にも参加いただき、さらに中味の濃い誌面となりました。

市民活動も行政も目指すものは同じ「公共の有益つまりみんなが楽しく暮らすこと」です。市民活動の良いところは「ヤル気のある人が損得なしで動く」という点です。暇な人が無責任にやっつるんだらうと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、これほど効率の良いスタイルはありません。行政とは仕事の進め方が大きく異なるので呼吸を合わせるのには難しいですが、より良いものを提供しようという共通の目標のもと、互いの強みを利用しあって協働することで、子どもたちが胸をはって「新庄出身」と言えるような地域になっていくと期待します。

◎問い合わせ/事務局・新庄TCM ☎28-8319

※このコーナーでは、公益(=社会貢献)をめざし活動している市民団体の取り組みを紹介しています。



▲振興計画後期五カ年基本計画策定会議

昨年度に策定した「財政再建計画」に基づき、困難な財政状況を早期に切り抜け健全な財政運営を行うため、各種対策に取り組んでいます。

契約管財室では、市の工事施工や物品購入の際の入札・契約、市が保有する土地や建物などの財産の保全管理や運用、有効活用を進めています。市庁舎の維持管理では、できるだけ経費を抑え効率を上げるよう努めながら、来庁する市民の皆さんにわかりやすく、なじみやすい庁舎づくりを目指しています。

情報統計室では、コンピュータ処理の電算管理業務と国・県の指定統計調査業務、今年四月に条例施行された個人情報保護業務などを行っています。現在、電算化して行っている業務は、住民記録や税務情報など多くの部門にわたります。統計調査業務には、小売物価調査・学校基本調査・工業統計調査などや、今年五年ごとに全国一斉に行われる国勢調査があります。

若い人の力を育くんで

山形国際ボランティアセンター(会員)

福原美南子さん(万場町)

人材の育成が大切であり、地元での活動を頑張っている方の経験や知識を若い人たちに教えてもらえればと思います。たくさんの方が地道に一所懸命に活動しており、そういう方たちの連携が大切です。わたし自身、いろいろなことをしてきて良かったと思います。大変なこともありましたが、多くの仲間にも恵まれました。良いと思うことは他の所から学びながら、新庄にあった形で進めていけば良いと思います。

指針内容の実行を

NPO法人くれよんはうす理事長

齊藤千恵子さん(鳥越)

内容が固まりかけた策定の終盤のころ、「協働を市役所でどう展開させるか」という話になり、今までさまざまな話合ったことが実践されない「絵に描いたもち」になってしまいう可能性もあるのかと、心配になりました。市の指針であるのです。どのようなことでも壁はあります。そこを乗り越えて進んでいけば、いろいろなことが変わっていくのではないのでしょうか。住みたいまちになるよう、「協働」の推進を望みます。

協働の視点で

栄町・中の川アダプト代表

鈴木秀之助さん(栄町)

委員会ではさまざまな意見が出され、公聴会も開催しましたが、さらに広く多くの意見を求めるため、多種多様な活動分野の団体・人たちと意見交換する機会を何度か設けた方が良かったのではないかと思います。そうすれば、協働についても、もつと周知できたのではないのでしょうか。地道に活動している市民の声を拾い、反映することが大切です。市民と市民が共に考え歩んでいけるよう、協働体制の確立を願っています。

市役所「さわやか運動」実施/7月11日~8月10日/窓口での「お客さまアンケート」にご協力ください

花と緑のまちづくり

初夏を迎え、市内86団体からなる「新庄市花と緑のまちづくり市民会議」や新庄市衛生組合連合会を中心に、かむてん公園花壇や付近の国道、中心商店街などで多くの市民の手で花が植えられ街を彩っています。

新庄まつり250年祭記念

ハンギングバスケット コンテスト作品大募集!

- 展示期間 7月31日(日)～8月末
- 展示場所 新庄駅東口木製アーケード
- 規格 タテ・ヨコ90センチ程度まで(アーケードの柱に取り付けられるもの) ○出展料 無料
- 製作会・講習日 ①7月28日(木)、②7月31日(日)午前9時～クリタ園芸(一本柳)
- 搬入日 ①7月28日(木)、②7月31日(日)午後1時～/新庄駅東口木製アーケード
- 応募締切 7月21日(木)
- 主催 花の風の会(後援/新庄市花と緑のまちづくり市民会議)
- 詳しくは、都市整備課整備管理室へ。☎内線525



育てた花苗を植える農業大学の生徒たち(6月8日/かむてん公園)



花植え(6月4日/かむてん公園)



花植え(6月4日/国道13号沿い)



あじさい園清掃(6月19日/最上公園)



利用団体が花寄贈と花壇の手入れ(6月2日/市体育館)

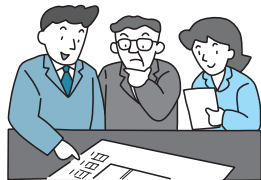
まちづくり

地域づくりをサポートします

～協働の地域づくり実践支援事業～

県では地域づくり活動(地域の文化・歴史・自然・人などの資源を活用し、いきいきとした地域を創っていく活動)への支援を行います。応募いただいた活動の中から優れた活動に活動費の一部を支援します。

- 助成対象 最上地域に居住・勤務・通学する方を含むグループや団体が行う地域の特性を活かした意欲的な地域活動
- 選定方法 地域づくり活動経験者などによる支援事業選定委員会による
- 支援内容 原則として5万円を上限に、活動に要する経費の2分の1以内(10団体程度)、支援を受けた団体の取り組みを効果的に進めるため必要に応じてアドバイザーを派遣
- 申請方法 市民プラザ経由で最上総合支庁へ
- 申請期限 前期分/8月25日(木)必着



※「地域づくり活動発表会」を来年3月に開催し、地域づくり活動について情報発信します。
◎詳しくは、市民プラザ☎22-4200、総務課行政協働室☎内線218へ。

健康メモ

歯周疾患検診を受けましょう

～市歯科健診事業～

歯周病は、歯を失う原因の中ではむし歯に次いで多く、特に40歳くらいから、その比率が高くなっています。

歯周病は、歯と歯ぐきの間の溝に歯こうがたまり、その中の歯周病菌により歯肉炎や歯周炎が発生します。むし歯と違って痛みがないため、発見が遅れがちです。歯を磨くと血が出る、歯がしみる、歯と歯の間に食べ物がよけはさまる、などの症状はありませんか。歯周病予防のため口内の状況や、歯みがき・食事・喫煙など生活習慣をチェックしてみましょう。また、検診を定期的に受けて、早期発見・治療に努めましょう。

- 対象 17年度中に40歳・50歳・60歳・70歳になる人
40歳(昭和40年4月2日～昭和41年4月1日生)
50歳(昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生)
60歳(昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生)
70歳(昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生)
- 検診方法 健康課窓口で受診券の交付を受け歯科医院で実施
- 検診期間 8月1日(月)～12月31日(土)
- 検診料金 1,300円(本人負担分/ほかは市が助成)
- 申し込み 7月20日(水)～11月30日(水)の間に電話で
- ◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

御家老の江戸だより

名づけて”新庄民話力”

◆新庄藩江戸家老野村敬子さん
(民話研究者)

週末、京都同志社大学で行われた日本口承文芸学会に出かけました。理事会の会場を案内板で見え、ましたら声をかけて下さった方がありました。一昨年、新庄の国民文化祭で知り合ったT氏です。ひとしきり新庄での刺激を再生し、鈴木敏子さんの民話バフォーマンスにおける新庄言葉について話し合いました。新庄民話のご縁で道案内もしていただき、会場では「みちのく民話まつり」にお誘いしたら、民話の会を結成して参加された千葉のY氏と隣り合わせ、またまた新庄民話の活力が話題になりました。



わたくしは、新庄南高校卒業生ということでいささか現代ばなれした「江戸家老」なるものをお引き受けし、戸惑いつつも近年はもっぱら江戸家老名刺を手渡す新庄民話PR係を任じています関係上、こう

した出会いが続くようです。東京でも国民文化祭初参加の江戸つ子たちが「神室民話の里語り」に感動し、新庄に学べどばかりに帰京後から猛然と江戸を語り始めました。わたくしも彼らの心意気に感じ「ふるさとお話の旅 東京・江戸語り」(星の環念)を編み、次世代へ継ぐ出版をいたしました。こうして、新庄民話を契機にした熱い連動が続きます。観光民話の一過性を嫌う人びとにとって、この熱い連動は二十一世紀民話に架ける虹のようです。その虹の橋詰めから本日、優れて見事な一冊が届きました。大友義助先生監修・渡部豊子さん編著『昔話と村の暮らし―山形県最上郡旧萩野村―』(自刊)です。國學院大学語りの文化講座に通われた渡部さんらしく自ら父祖の伝承言語で郷土の萩野を記録、口承文芸の原風景を検証する手法とされています。民話を中核に据えた暮らしの記録として民俗誌に新生面を開かれました。これら内発的民話発信こそ新庄の真に誇り得るお国自慢です。名づけて”新庄民話力”とい

たしました。

いきいき
新庄人

自然の大切さを伝えたい

星川靖捷さん(円満寺町)

「イバラトミヨに興味を持ったのは、20年くらい前にイバラトミヨの研究にやってきた大学生から、いろいろな話を聞いておもしろいと思ってからです」と話す星川さんは、県の天然記念物になっている淡水魚・イバラトミヨの生態を研究し、山形県ふるさと保全指導員として川などに生息する水生生物の調査を行っています。

「新庄ではイバラトミヨはハリザッコと呼ばれ親しまれています。水温15℃くらいで水流が穏やかな清流を好んで生息しています。イバラトミヨは雄が巣作りから子育てをする魚で、水中の水草などに枯葉や草の根などでピンポン球ほどの巣を半日で作り、その中に産卵します。わたしは、自宅の水槽で飼育し、巣作りから産卵、ふ化、そして稚魚になる姿を観察し写真に撮っています。今年はすでに3回その姿を見ることができ、稚魚たちを川へ返してやることができました。

8年前から指首野川や中の川など市内4つの川で年3回ほど水生生物の調査を行っています。最近には川にイバラトミヨをはじめとしたさまざまな生物が戻ってき

ているように感じます。自然環境を守ろうという取り組みが少しずつ成果をあげてきているのかもしれませんが。ただ残念なことに、川などに捨てられているごみの量は依然として減ってはいません。ごみを捨て川を汚すのは人間で、これはモラルの問題です。

環境を守るということを、子どもたちから教える必要があると思っているときに、北辰小学校の4年生にイバラトミヨのことを教えることになりました。最初、子どもたちはイバラトミヨそのものがわからなかったもので、写真を見せ川と一緒に連れて教えました。きれいな川でなければ住めないため希少生物となっているイバラトミヨが、自分たちの近くに住んでいる。新庄にはきれいな水が流れている。この貴重な自然を守っていくため、川をきれいに大切にすることを子どもたちにわかってほしい。そのためにも、イバラトミヨの一生を教えてあげたいと思って頑張っています」と語る星川さんには、郷土の美しい自然を継承していきたいという強い思いが感じられます。



聞録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲オープン前の観光サクランボ園視察(6月17日/市内3カ所)



▲みちのく民話まつり“春語り”(6月4日/民話茶屋)



▲NPO法人すぎのこハウス主催の「あじさいコンサート」(6月11日/ゆめりあ)



▲市の環境への取り組みなどが紹介されたNHK「環境インフォメーション展」(6月3日～5日/市民文化会館)



▲建築彫刻とぬくもり木工品展(6月1日～8月29日/雪の里情報館)



▲雪国総合研究所設立1周年記念講演会(6月18日/雪の里情報館)

真っ赤なサクランボ

18年目を迎え、たわわに実ったオープン前の観光サクランボ園で関係者による視察会が行われました。今年、観光サクランボ園を開園したのは新庄果樹研究会メンバーの3人。会長の中川新一さん(往還)は、「新庄は寒暖の差が大きいので味が良く、日持ちもいい。短期間の収量より、孫の代までも長く続くよう自然な形で栽培しています」と話しています。現在、市内のサクランボ栽培面積は2ヘクタールです。

民話まつり“春語り”

みちのく民話まつり開催20年目を記念し、今年、年4回開催される“四季語り”。その第1弾として市内4軒の民話茶屋で“春語り”を開催しました。萩野小・泉田小・北辰小の子どもの語り手12人を中心に、新庄民話の会会員が「くらしの知恵の語り箱」をテーマに「長い名前」「笠地蔵」などの民話を表現力豊かに語り、来場した人々を楽しませました。

雪害救済運動を考える

雪の代議士といわれる松岡俊三が提唱した雪害救済運動に焦点をあてて今日の意味を探ろうと「雪国総合研究所満1周年記念講演会」を開催しました。雪の里情報館名誉館長・大友義助氏から、昭和8年に積雪地方農村経済調査所が新庄町に設置されるまでの経緯や運動の意義が解説されました。松岡代議士の出身地・村山市からも30人が訪れ、交流を深めました。

住みよさランキング

全国の市対象の「全都市住みよさランキング」が東洋経済新報社から発表され、新庄市が利便度で全国8位になりました。総合評価は、全国115位、東北で8位、県内では山形市に次ぐ2位のAランクを獲得しました。



新庄藩校「明倫堂」開講

郷土の歴史と文化を学ぶ新庄藩校「明倫堂」が開講しました。今年のテーマは新庄まつり250年に合わせ「新庄のまつり」。第1講座は「まつりが物語る250年の歴史」。県文化財保護審議会議長の友友義助氏から、大凶作をきっかけとして始まった新庄まつりの起源や歴史が当時の文献とともに詳しく紹介されました。今年あと4回の開催予定。



▲参加者の運営による新庄藩校「明倫堂」講座が開講(6月20日/市民文化会館)

人権擁護委員の交代

人権擁護相談などを受け持つ新庄市人権擁護委員に7月1日付けで次の方が委嘱され、8名になりました。

【再任】西田義克さん

【新任】桂田茂夫さん、矢口伊和子さん、井上和郎さん



▲第41回新庄市小学校陸上競技記録会(6月15日/陸上競技場)

栄光をたたえて

■新庄市小学校陸上競技記録会

男子/100m①浅沼智也(日新)②佐藤瑞紀(沼田)③黒坂郷志(日新) 1000m①庄司幸弘(萩野)②小松雅(日新)③矢作勇士(沼田) 走り幅跳び①阿部佳樹(日新)②小野秀彰(山屋)③結城拳(新庄) 走り高跳び①安食尚人(萩野)②樋渡裕希(泉田)③斎藤大貴(沼田) ソフトボール投げ①塚田好顕(新庄)②海藤涼(日新)③佐藤亮太(沼田) 400mリレー①日新②沼田③新庄 女子/100m①中鉢楓(沼田)②大野里帆(泉田)③平賀由真(本合海) 800m①庄司茜(日新)②菅嶋彩香(泉田)③矢口亜妃乃(沼田) 走り幅跳び①斎藤佳奈(沼田)②東海林美香(泉田)③元木尚(本合海) 走り高跳び①海藤夕貴(泉田)②五十嵐理紗子(日新)③矢口綾夏(本合海) ソフトボール投げ①板垣佳那子(北辰)②渡邊しずか(日新)③柳沼茜(升形) 400mリレー①新庄②沼田③日新

■山形県身体障害者福祉協会長表彰

自立更生者表彰松田美佐子(鳥越)

更生援護功労者表彰畠腹直(土内)

■山形県老人ホーム輪投げ大会

優勝 神室荘



▲マルコ幼稚園園児が市に花のプレゼント(6月21日/市役所)



▲新庄・最上の12団体が美しいハーモニーを披露した第30回サマーコーラスフェスティバル(6月25日/市民文化会館)



▲3年連続優勝を遂げた神室荘チームが市長に報告(6月29日/市役所)



▲森嘉昭収入役が退任(任期/平成13年7月～平成17年6月)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

建設業に働く「若者からのメッセージ」募集

- 就業動機、建設業の魅力、将来の夢など
2,000字以内で未発表のもの
- 応募期限 7月29日(金)

◎雇用・能力開発機構山形センター ☎023-647-0301

募集

新庄21地域スポーツクラブ 親子子ども水泳教室

▼対象 小学3～5年生の児童(先着20人)

▼とき 8月1日(月)～4日(木)
午前9時30分～11時30分

▼ところ 市民プール

▼参加費 1人1,000円
(保険料など)

▼申し込み 7月26日(火)まで

問 生涯スポーツ課

☎22-0681

体験農園でバレイショ 収穫体験しませんか

▼とき 7月30日(土)、31日(日)、
8月1日(月)いずれも午前9時
～正午 ▼料金 1人1,000円

問 歴史センター ☎22-2188

円(12kgまで)
▼申し込み 7月19日(火)から
電話で

問 農林課農林振興室

☎内線269

ワクワク探訪会 最上の民話&伝説

▼対象 小学生(先着20人、保護者の参加も可)

▼とき 8月7日(日)午前9時
～午後4時 ▼集合 午前8時

▼コース 義経・判官神社～日

本一の赤松～弁慶の硯石～猿

羽根山公園～ブナの実塾～手

倉森湿原ほか ▼講師 須藤敏

枝さん、渡部豊子さん(新庄民

話の会会員) ▼持ち物 昼食、

水筒、筆記用具

▼参加費 1人500円

▼申し込み 7月29日(金)まで

問 歴史センター ☎22-2188

異文化体験・交流事業 アジアを体感!

▼対象 小学3年生以上の親子(先着15組) ▼とき 7月24
日(日)、31日(日)、8月7日(日)い

ずれも午前10時～午後1時

▼ところ 市民プラザ

▼内容 フリピン・中国・韓国

の人と交流、各国の料理を作る

▼参加費 各500円

▼申し込み 電話で

問 市民プラザ ☎22-4200

第4回山形県障害者 スポーツ大会

▼対象 市内在住で障害者手
帳を持っている人 ▼とき 9月

4日(日) ▼ところ 県総合運動

公園(天童市)

▼内容 陸上競技、ユーススポー

ツ部門、レクリエーション部門

▼申し込み 7月19日(火)まで

問 障がい者スポーツ課 ☎22-2188

協働のまちづくり学習会

市民と行政とのパートナーシップで
支え合うまちづくりを目指して

- とき 7月24日(日)
午後1時30分～3時30分
- ところ 市民プラザ第5・6研修室
- 内容 市民活動の現状と全国の協働事例
- 講師 せんだい・みやぎNPOセンター
代表理事・加藤哲夫氏
- 参加費 700円
- 定員 30人(申し込みが必要)
- 主催 子育てネットワークバルボンさ
ん・市民プラザ
- 詳しくは、バルボンさんへ。 ☎23-3150

こどもなつのつどい

- とき 7月29日(金)午前10時30分～正午
- ところ 市立図書館
- 内容 読み聞かせ、お話し会、工作など
- 詳しくは、市立図書館へ。 ☎22-2189

シネマ・アベージュ 最新映画情報

- 「ポケットモンスター・ミュウと波導の勇者
ルカリオ」/9:00 11:05 13:10 15:15
- 「電車男」/17:15 19:15
- 期間 7月16日(土)～8月26日(金)
- 詳しくは、シネマ・アベージュへ。 ☎28-8884

「産直まゆの郷」 土用まつり

- とき 7月24日(日)
午前9時30分～午後6時
- 内容 土用のドジョウ・旬野菜・花・
農産物販売、焼きおにぎり・アイスク
リーム屋台、先着200人に農産物プレ
ゼント
- ◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、
農林課バイオマス推進室 ☎内線267
へ。

平成17年度 新庄市職員採用試験

- 採用試験はありません。
- ◎総務課職員広報室
☎内線216・217

芭蕉乗船の地 国際俳句大会事前投句

▼席題 今季雑詠(2句1組何
組でも可)小中学生は1組の
み) ▼投句料 1組1,000
円(小中学生無料)

▼申し込み 8月10日(水)まで

郵便番号・住所・氏名・電話番号
を記入し〒996-0111

2新庄市本合海28-2へ郵送

▼吟行会 10月2日(日)

問 大会事務局(本合海エコー
ジョー内) ☎26-2118

東北公益文科大学 聴講生(後期)

▼対象 高校卒業(同等程度)
の人 ▼科目 各分野全49科目

自衛官募集

- 2等陸・海・空士 ▼資格 18歳
～26歳 ▼受付 男子/9月8
日(木)まで、女子/8月1日(月)
～9月8日(木)
- ▼一次試験 男子/9月16日
(金)、女子/9月26日(月)
- 一般曹候補学生 ▼資格 18歳
～23歳 ▼受付 8月1日(月)～
9月8日(木)
- ▼一次試験 9月17日(土)
- 曹候補士 ▼資格 18歳～26
歳 ▼受付 8月1日(月)～9月
8日(木)
- ▼一次試験 9月17日(土)

問 東北公益文科大学広報入課
☎0234-41-1118

▼入学金 2万円 ▼聴講料 1
科目2万円/単位認定を受
ける場合は1科目4万円

▼出願期間 7月19日(火)～8
月12日(金)(当日消印有効)

問 生涯スポーツ課



仙台労働条件相談センター
解雇・賃金・就業時間・セクハラなど
○月～金曜日午後2時～8時
土曜日午後1時～6時
○フリーダイヤル 0120-554-345 (無料)

7月の お・知

催し
など

新庄まつりの歴史を尋ねよう

～新庄まつり250年記念講座～

- とき 7月16日(土)午後1時30分～3時30分
- ところ 市民プラザ小ホール
- 講師 大友義助氏(山形県文化財審議会会長)
- 資料代 300円(会員は無料)

※当日、直接会場へどうぞ

◎詳しくは、最上地域史研究会事務局(市民プラザ内)へ。 ☎22-4200

灯ろう流し

～川面を1,800個の絵灯ろうが彩ります～

- とき 7月28日(休)午後6時30分～
 - ところ 升形川(県立新庄病院そば)
- ※会場で当日午後2時から先着100人に灯ろうを配布します。(雨天翌日順延)

◎詳しくは、升形川に親しむ会・笹原へ。

☎23-0288

高校生向け講座「ゆうキャンパス」

～大学への招待～

- とき 8月1日(月)～2日(火)
いずれも午後2時～4時10分
 - ところ 市民プラザ小ホール
 - 内容 リチウムイオン2次電池・子どもと遊び(1日)、学校(日本とドイツをくらべてみると)・見て、触る「科学」(2日) ※事前に申し込みが必要です。
- ◎受講無料です。詳しくは、大学コンソーシアムやまがた事務局へ。 ☎023-628-4842

第29回 一般公開

- とき 8月5日(金)午前10時～午後4時
 - ところ 長岡雪氷防災研究所新庄支所(高壇)
 - 内容 世界最大規模の人工降雪システムの公開、ダイヤモンドダストの観察など
- ※トレーナーなどを持参してください。団体見学の場合は事前予約を。
- ◎詳しくは、長岡雪氷防災研究所新庄支所へ。 ☎22-7550

7月は社会を明るくする運動強調月間です

社会を明るくする運動は、犯罪・非行を防止し、罪を犯した人や非行に陥った少年の更生を支える全国的な運動です。

◎詳しくは、生涯学習課へ。 ☎内線461

☎0120-521286

交通遺児育英会奨学生
▼対象 保護者が交通事故で死亡または後遺症により働けず経済的に修学が困難な生徒・学生 ▼応募資格 現在高校、短大、大学などに在学または来春進学予定の人
▼募集期限 高校・高専 9月30日(火) / 大学・短大 9月20日(火)
☎0120-521286

交通遺児育英会奨学生

☎22-5057

採用制度説明会
▼とき 7月21日(水)午後2時～6時 ▼ところ ゆめりあ
☎22-5057

航空学生 ▼資格 高卒(見込み) 21歳未満 ▼受付 8月1日(月)～9月8日(木)
▼一次試験 9月23日(金)

地域の子もたちに科学の楽しさを!

県では、子供会やPTA、学校、公民館などでの科学の実験教室や学習活動にサイエンスナビゲーターを派遣(募集)しています。

☎023-6330-3052

お知らせ

木造住宅の簡易耐震診断

県は、地震対策として木造住宅の無料簡易耐震診断を実施しています。特に昭和56年以前に建築された住宅は診断してもらいましょう。

☎0570-000343

外国からの電波によるテレビ受信障害

5月～8月ごろ、テレビの2チャンネルに「しま模様」が入ることがあります。これは、外国の電波が日本に届いて混信するためです。

☎022-2556-6076

仙台入国管理局

▼対象 昭和57年4月2日～63年4月1日生まれの人
▼受付 7月19日(火)～8月2日(火) ▼一次試験 9月25日(日)

入国警備官採用試験

※事前に申し込みが必要です。
☎28-7760

小学校就学時健康診断

とき	ところ	入学予定校
8月31日(水)	新庄小	新庄小・山屋小
9月2日(金)	泉田小	萩野小・泉田小・昭和小
9月7日(水)	本合海小	本合海小・升形小
9月9日(金)	日新小	日新小
9月14日(水)	沼田小	沼田小・北辰小

- 対象 来春小学校に入学する幼児
- 受付時間 いずれも午後1時から
- 案内状を7月下旬に保護者あてに郵送します。詳しくは、教育委員会学校教育課へ。 ☎内線447

JR東日本より線路沿線の皆さまへ

列車の安全運行と関係設備の適正な保守のため除草剤散布を行います。ご迷惑をかけることのないように慎重に散布しますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

- 範囲 奥羽本線、陸羽東線、陸羽西線
- 期間 7月20日(水)～9月10日(土) (雨天、強風時は延期)
- 時間 夜間～午前7時
- ◎詳しくは、JR新庄保線技術センターへ。 ☎22-5581

国民年金の免除を受けた期間は追納しましょう

保険料の免除や学生納付特例などを受けた期間は年金額が減額されますが、

10年以内であればさかのぼって納めることができます。ゆとりができたら追納しましょう。
◎詳しくは、社会保険事務所 ☎22-2050、市民課国民年金室 ☎内線134へ。



「将来を見すえた人づくり」

今月号から「地域の子どもは地域で育てる」をテーマに地域と学校が一体となって取り組んでいる活動や、特色ある教育実践など各校の取り組みを紹介していきます。今回は、最後の運動会が盛大に開催された角沢小学校です。

●最後の運動会に向け

プロジェクトチームを結成

今年度で、百三十一年の歴史に幕を閉じる角沢小学校。児童数の減少と校舎の老朽化のために来年度から日新小学校と統合することになり、閉校に向けての実行委員会「明日の角沢学区をつくる会」を立ち上げました。さらに「学校行事推進プロジェクト」「閉校記念物プロジェクト」など五つのプロジェクトチームを組織しました。

本校の特色として、学区民参加の運動会があります。今年度で最後の角沢小運動会を感動的で心に残る運動会となるよう、地域一体となって取り組むことになりました。運動会のテーマは「心に刻もう感動のストーリー」。最後の運動会を感動的で子どもたちの心に、そして、子どもたちだけでなく地域の皆さんの心に残る運動会にしたいという希望を持って取り組みました。

子どもたちの種目は全校で取り組む種目を多くし、紅白両軍の士

気が高まるように計画しました。また、地域の皆さんの種目も検討に検討を重ね、最後の運動会を盛り上げるよう計画を立てました。競技が始まり、期待通りの盛り上がりを見せ、最後の運動会にふさわしいすばらしい熱戦が繰り広げられました。

●感動と充実感に涙

子どもたち、保護者、地域の皆さんが最後まであきらめずに、心をひとつにして頑張る姿に感動させられました。紅白の対抗は最後の最後まで接戦でした。赤組が優勝し、敗れた白組の子どもたちの目には涙があふれていました。しかし、その涙は力を出し尽くした充実感でいっぱいでした。

また、閉会式の場面でも涙を流す役員の皆さんがいました。精一杯感動のストーリーをつくろうと頑張った子どもたちの涙、最後の感動的な運動会をつくり上げた役員さんの涙、そこにはそれぞれの熱い思いがあったのだと思います。



▲大きな感動をよんだ角沢小大運動会

子どもたちに感動というすばらしさを教える地域の熱い気持ち、ひとつの大きなことをやり遂げたときの涙は、子どもたちの心を育み大きく成長させることにつながるでしょう。

わたしたち教職員も、子どもたち、保護者、地域の皆さんから大きな感動をいただきました。感動をありがとう！さようなら角沢小学校大運動会。

●さらなる感動の思い出を

これから来春の閉校に向けて、いろいろな企画があります。学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちとともにさらなる感動のストーリー、思い出づくりをしていきます。(角沢小学校)

新庄の歴史

こぼれ話

政盛・正誠の娘たち

太田の英照院(初め天英院)は、初代政盛の側室・天慶院の開基であるが、ここに、娘の宮子(政盛長女)が葬られており、彼女の法号が英照院である(初めは宝光院)。宮子は、政盛が二代藩主にするために山形の鳥居家から養子に迎えた定盛の正室でもある。

政盛には三人の娘がいたようで、三女・伊勢子(母・天慶院)は、加藤出羽守泰朝(泰興とも)に嫁いだ。この加藤出羽守は、正誠の家督相続に尽力した人物であるが、後年、戸沢家と加藤家は義絶し、伊勢子も戸沢家に戻った。正誠は伊勢子を大切に扱い、江戸の藩邸・青山屋敷に住ませたので、「青山殿」とも呼ばれた。彼女は江戸で亡くなったので、江戸の戸沢家菩提寺・常林寺に葬られたが、新庄の瑞雲院(焼け寺)にも墓がある。

二代藩主正誠にも三人の娘がいたよつである。長女・千代子(鶴子・久子とも)は久留島伊予守通政の正室となり、没後は常林寺に葬られたが、後に正誠は彼女を開基者として福昌寺(初め福聖寺)を建立した。二女・諏訪子(お須賀)は、青木甲斐守重安(安晴とも)の正室と

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『ハッピーバースデー』

吉富 多美

1997年に児童書として出版され、いじめ、虐待など重いテーマながら、世代を超えて感動をまきおこした。今回、子どもの確執に苦悩する親の気持をクローズアップした「親世代版」ハッピーバースデーが刊行された。著者の吉富(旧姓宮林)多美さんは新庄市出身。



● 今月のテーマ展示 ●

『性と生命』

人類がこの世に誕生して以来、連続とつながれてきた命の営み。そしていまここにあるわたしたちの命。

七月は性と生命に関する本を展示します。

新着図書

- ◆クワガタ&カブト甲虫キャラクター大百科……………ポニーテール
- ◆ジャムの絵本……………こしみず まさこ
- ◆ダヤンとハロウィーンの戦い…池田 あきこ
- ◆ジュニア記号の大事典…太田 幸夫
- ◆まじよのくつ……………さとう めぐみ
- ◆蒲公英草紙(常野物語)…恩田 陸
- ◆ミッキーマウスの憂鬱……………松岡 圭祐
- ◆ニッポン駅弁大全……………小林 しのぶ
- ◆シリウスの道……………藤原 伊織
- ◆おらだの関取琴の若……………武田 葉月
- ◆抱き桜……………山本 音也
- ◆田辺写真館が見た“昭和”…田辺 聖子
- ◆強情・彦左……………小島 英記
- ◆特務艦隊……………C. W. ニコル
- ◆暁の旅人……………吉村 昭
- ◆負け犬亭主の遠吠え川柳…見川 文雄
- ◆透明な旅路と……………あさのあつこ
- ◆終わりまであとどれくらいだろう…桜井 鈴茂
- ◆θは遊んでくれたよ……………森 博嗣
- ◆村上祥子流お酢レシピ…村上 祥子
- ◆空を取り戻した日…ミシェル・ブリュール
- ◆あきらめない人生……………池田理代子
- ◆ルドルフ・カイヨワの憂鬱…北國 浩二
- ◆添乗員の独り言……………樋口 進
- ◆探偵ナイトスクープアホの遺伝子…松本 修
- ◆檸檬のころ……………豊島 ミホ
- ◆57歳のセカンド・ハローワーク…布施 克彦
- ◆いのちはまわる……………森山 あきひろ
- ◆母校北星余市を去るまで ヤンボコ……………義家 弘

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始

あいさつは心の現われ

～新庄市青少年育成市民会議～

市青少年育成市民会議の総会が開催されました。市民会議では、通学時の子どもたちへのあいさつ運動、少年非行防止ネットワークの構築、地域の子どもたちは地域で育てる活動の推進などを通し、青少年の健全育成と非行防止を目指しています。

元北海道教育大学教授野口芳宏氏の記念講演では「あいさつと返事は気持ちを伝え合う基本。あいさつされると親しみがわき、あいさつすることと人と人が近づきます。明るく楽しいあいさつができる人はだれからも好かれます。自分の意思を具体的に適切なことばで表現することが大事。言

葉は心の形であり、言葉づかいは悪いことは心づかいが悪いこと。あいさつや返事は相手への思いやりと深く結びつき、きちんとできることが心を磨くことにつながります」と説きました。

参加者からは、「あいさつの大切さを再認識させられました。子供会行事などで今まで何か足りないと思うとずっと考えていた。それが今日、先生がおっしゃった形式的でなく本来の意味を考えたい返事、あいさつであったと感じることができました。日本古来から大切にしてきたおはようございます、ありがとうございますなど身近な言葉をもう一度見直し、青少年の健全

育成に役立てていきたいと思う」と感想が聞かれました。家庭・学校・地域連携して、青少年を取り巻く社会環境の変化を認識しながら、青少年を見守っていきましょう。



▲記念講演「あいさつの大切さ」

なり、江戸で没したと思われるが、瑞雲院御霊屋三号棟にその墓がある。また、二女(虎子)のち万世は三代藩主正庸の養女となり、正誠が正庸の跡を継がせるべく鳥居家から養子に迎えた正成の正室となり江戸に住んだが、二十二歳で亡くなった。遺骸は新庄に運ばれ、桂獄寺に葬られた。なお、桂獄寺は、正誠が最も可愛がった嫡子政武(法号桂獄寺)が亡くなった折建立した寺であり、正誠自身の墓もここにある。歴代藩主の中で一番権力を振るつた正誠の、子どもたちへの愛情の深さがうかがえるようである。

(市史編さん室)

◎市史編さん室への問い合わせは、市民プラザ(☎224200)にお願いします。

まつりを支える人々

～新庄まつり250年祭シリーズ～

中丁場 白山車の図



夏の夜空に天の川が翔けるころ、風の流れるに囃子の音が聞こえてくる。山車づくりがひと段落して、町内若連と囃子若連が親睦する中丁場である。山車を作る町内若連と近郷の囃子若連があいさつを交わし、まつり本番へ向け意気をおこせる場ともなっている。

この時期の山車は、和紙を貼り、白色をのせただけの白山車と呼ばれる。人形も色彩もないが、期待感の高まりとともに、場面が見えてくるかのように、不思議に大きく輝いて見える。白山車の美しさは言葉にできず、それだけに色づけの難しさも言うまでもない。

山車製作の山場を前に、集まった人々は本まつりの近づきにひとしきり心地よく酔い、思いをはせる。

さあ、いよいよ新庄まつり二五〇年祭だ！

(絵と文) 加藤良哉

見・所・探・訪

市立図書館のカヤの木

～市指定天然記念物(昭和63年指定)～



庭園のある図書館として市民に親しまれている市立図書館。庭園は、旧家・井上家(山口醤油屋)の由緒ある庭園を生かしたもので、かつて文豪・武者小路実篤や横山利一、里見弾などの文化人も訪れ、句などを残している。園内の多くの草木の中できわだっているのが樹齢300年以上といわれるカヤの木。7本株立ちで、幹周り計11.72メートル、高さ12メートル。毎年たくさんの実をつける。夏には庭園の木陰で読み聞かせが開催され、多くの親子連れが集う。

5月末現在の新庄人

41,000人(41,353人)

女	21,350人(21,541人)
男	19,650人(19,812人)
世帯数	13,456世帯(13,492世帯)

5月の異動

出生	23人(31人)
死亡	33人(35人)
転入	78人(54人)
転出	82人(78人)

※()は1年前の住民基本台帳

表紙の写真

むし歯になりませんように! ～「お祭り歯っぴい」～

6月4日から10日までの「歯の衛生週間」に新庄地区歯科医師会が毎年開催している行事「お祭り歯っぴい」。むし歯にならないよう歯にフッ素を塗ってもらう子どもたち。ブラッシング指導を受けた後は、かやのみ会の紙芝居、歯医者さんのクイズショーを多くの親子連れが楽しみました。

